

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2002年(平成14年)9月15日 No.1238

目次

2002年上半期の日口貿易	1
統計速報	5
2002年1～6月の対CIS・中東欧・モンゴル輸出入通関実績 / 5	
キーパーソン	6
野村ドイツ大使を新ロシア大使に起用 / 6	
エトセトラ	6
新刊のご案内 / 6	
ウズベキスタン国営航空、成田就航 / 6	
ロシア東欧貿易会関連の行事予定	7
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	7

2002年上半期の日口貿易

はじめに

当会では、財務省発表の貿易統計にもとづいて、2002年上半期の日本・ロシア貿易の輸出入商品構成をまとめたので、今回はこの資料を紹介する。

財務省発表の貿易統計を当会で独自にドル換算したところ、2002年1～6月期の日口貿易の総額は18億6,063万ドルで、前年同期比21.4%低下した。うち、日本の輸出が4億3,884万ドルで前年同期比47.3%増、輸入が14億2,179万ドルで同31.3%減であった。より規模の大きい輸入の減少が響いて、総額も低下を余儀なくされた形だが、内容的に見ると、日口貿易全体としては決して悲観すべきパフォーマンスではない。

なお、円建てで見ると、2002年1～6月期の日口貿易の総額は2,423億円(前年同期比14.6%減) 日本の輸出が572億円(同59.9%増) 輸入が1,851億円(同25.3%減)となっている。以下、便宜上、第1表はドル建て、第2、3表は円建てになっているので、ご注意いただきたい。

対ロシア輸出は、1998年のロシア経済危機前の規模に戻りつつあり、2002年は久しぶりに年間10億ドルの大台を回復する可能性が出てきた。自動車輸出が相変わらず好調で、2002年上半期の実績は台数、金額とも前年同期からほぼ倍増している。それよりも注目されるのは、